

「車両／浮上式鉄道／電力分野技術交流会」を開催しました

2022年10月4日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、鉄道関係の皆さまに車両分野、浮上式鉄道分野および電力分野に関する実用的な開発成果をご紹介することなどを目的として、2022年9月28日に「車両／浮上式鉄道／電力分野技術交流会」を以下のとおり開催いたしました。交流会には鉄道事業者を中心に35社67名の方にご来場いただきました。

1. 開催日時：2022年9月28日（水）10時から16時30分
2. 場 所：公益財団法人鉄道総合技術研究所 国立研究所（東京都国分寺市）
3. 内 容：

鉄道総研では、安全性の向上や脱炭素化に資する研究開発などに取り組んでいます。

今回の交流会では、安全性の向上という観点では、鉄道の運行に係る機器の検査手法の高度化に関する研究成果について、また、脱炭素化という観点では、運行に関わる消費エネルギー量や二酸化炭素排出量の算出に関する研究成果などについて、合計22件の成果を紹介しました（表1）。また、車両や電力分野に関連する5件の実験設備紹介（表2）を行いました。

当日は、実物やパネルを用いたプレゼンテーションを実施し、「台車部品のフェーズドアレイ超音波探傷」、「車両モニタデータを活用した自動異常検知」および「列車運行電力シミュレータ」の成果紹介件名などについて、活発に意見交換が行われました。



（写真） パネル、スライドを用いて開発成果のプレゼンテーションを実施している様子
「車両モニタデータを活用した自動異常検知」



（写真） 実験設備を紹介している様子 「高速パンタグラフ試験装置」

表1 成果紹介件名

分野	件名
車両分野	台車部品のフェーズドアレイ超音波探傷
	鉄道車両のエネルギー消費原単位・二酸化炭素排出量の簡易計算
	車両モニタデータを活用した自動異常検知
	車内騒音の伝搬経路・寄与度解析手法
	センサ内蔵軸ばね防振ゴムによる台車の走行状態監視
	公衆無線通信の列車制御システムへの活用手法
	台車旋回性能試験装置
	アクティブトーションバー式車体傾斜台車
	車上型自車位置検出システム
	高強度球状黒鉛鋳鉄 低騒音歯車
	車輪フランジ部の摩耗を低減するインテグレート踏面調整子
	走行風取り込み口形状の評価 －車両機器の冷却などに適した取り込み口形状の評価－
	車両内の低周波磁界評価
浮上式鉄道分野	超電導材料の製作・評価
電力分野	コンクリート電柱の健全度の判定手引き
	列車運行電力シミュレータ
	光切断剛体電車線摩耗計測装置
	C/C 複合材製パンタグラフすり板
	巡視支援のための線路周辺画像解析システム
	鉄道車両用非接触給電装置
	超電導き電ケーブル
	超電導の電力応用機器

表2 実験設備紹介件名

分野	件名
車両分野	トンネル空気力学模型実験装置
	ブレーキ実験棟
電力分野	高速パンタグラフ試験装置
	集電試験装置
	電車線コネクタ振動試験機

(報道機関問い合わせ先) 公益財団法人鉄道総合技術研究所 総務部 広報 TEL : 042-573-7219